

## 2022年度 事業報告書

2023年11月29日

埼玉県さいたま市中央区大戸一丁目14番10号大戸パークハイツ105号室

特定非営利活動法人ふるすあるは

代表者氏名 北野 陽子

電話番号 048-717-5639

### 1 事業の成果

#### 定款上の事業名

##### (1) 情報サイトの運営事業

「子ども情報ステーション—精神障がいをかかえた親とその子どもの応援サイト—」を運営し、1年間に、70万人をこえるユニークユーザーからのサイト訪問、延約144万ページの閲覧があった。2015年開設時からの累計ユニークユーザー数は、650万人をこえた。

##### (2) 心理教育絵本、テキスト等による普及啓発事業

啓発チラシ「親が精神疾患になったときの子どもと親のケアガイド」を、約8,000枚発行し、イベントでの設置や、活動に賛同するキッズパワーサポーターの協力による配布を行った。キッズパワーサポーター登録者とメルマガ会員、約2,500名へ毎月の配信で情報を拡散した。

新作コンテンツでは、若者向けイラストブック『いろんなきもちあるある—22のメッセージ』を制作刊行した。昨年8月に刊行したコミュニケーションを助けるアイテム『こころとからだコンディションカード』は、教育機関をはじめ子どもに関わる機関や保護者などへひろがり、刊行1年で増刷となった。

『生きる冒険地図』『ゆるっとこそだて応援ブック』を広げる取り組みを行い、絵本サポーターを通して、新たに200冊を普及した。教育機関へ、約600冊の絵本を直接寄贈した。

イベントでの出展、オンラインストアでの販売などを通して、家族のこころの病気を子どもに伝える絵本・子どもの気持ちを知る絵本、気持ちに関するアイテム等をおよそ1600冊/個を普及した。常設の本棚で絵本や関連書籍を閲覧、貸出できるようにした。

##### (3) セミナー等による課題の認知拡大、社会への普及啓発事業

さいたま市で開催した子どもの気持ちを表現した絵と活動の展覧会では、約3,000名が来場した。高知香美市で行われた展覧会では、約12,000名が来場し、これまで法人とのつながりがなかった人にも多くメッセージを届けることができた。12回のセミナー講師、シンポジウム登壇、情報提供機会等を担当し、精神障がいの親と子どもの支援ならびに、精神保健に関する普及啓発活動を行った。

##### (4) 目的を同じくする他団体等との情報交換や他団体と連携した協働事業

精神障がいを抱える親と子どもの支援に取り組む全国の関連団体に関する情報、関連書籍等の情報を随時更新し、運営する情報サイト内で提示した。リーフレット・Webサイト制作への協力、ワークショップ実施への協力をを行った。

## 2 事業の実施に関する事項（2022年10月1日 ～ 2023年9月30日）

### (1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数		支出額 (千円)
情報サイトの運営事業	情報サイトの運営	通年	事務所、オンライン	5名	精神障がい の親とその 子ども、支援 者	約70万人	662千円
心理教育絵本、テキスト等による普及啓発事業	チラシ配布による啓発	通年	事務所	3名	同上	約8000人	8,558千円
	イベント出展・オンラインでの絵本販売	通年	東京、福岡、オンライン等	10名	同上	約1500人	
	絵本献本	通年	佐賀、東京、青森他、全国	7名	同上	約800人	
	精神保健啓発ツール制作	通年	埼玉	3名	同上	約1000人	
	展覧会	10-2月、7月-9月	高知、福島	3名	鑑賞者	約13,000人	
セミナー等による課題の認知拡大、社会への普及啓発事業	セミナー講師	通年	兵庫、東京、埼玉、オンライン等	3名	セミナー参加者	約1000人	829千円
	啓発イベント	7月	埼玉	10名	イベント鑑賞者	約3000人	
他団体と連携した協働事業	情報発信	通年、3月	事務所、東京	3名	精神障がい の親とその 子ども、支援 者	約500人	93千円